

第65回 大磯一周駅伝大会 星槎国際湘南 陸上競技部 総合優勝



星槎スポーツ新聞

第31号 ★ 2019年2月22日(金)

星槎グループ セイスポ編集部発行
神奈川県 中郡大磯町国府本郷 1805-2

全員で記念撮影

第65回 大磯一周駅伝大会 結果

◆ 総合成績

1位 星槎国際湘南 陸上競技部	1時間 11分 17秒
6位 星槎国際湘南 硬式野球部	1時間 20分 28秒
8位 星槎国際湘南 バスケットボール部	1時間 24分 25秒
16位 オール星槎	1時間 30分 29秒



オール星槎 輝の想い

平成最後の駅伝 健闘したオール星槎

SEISAからは、5チームが参加した。今年は新コースになったので、すべての区間で区間賞を取るという区間記録として残る大会になり、星槎国際湘南陸上競技部を始め、オール星槎で参加した各学習センターの生徒たちも試走から念入りにコースを見る、気合の入りようだった。昨年は23位、今年は31チーム中、16位と大健闘だ。駅伝は、一つの輝に想いを込め走り抜き、輝がいつも以上の力を

大磯町内21.2kmで競う「第65回 大磯一周駅伝大会」が1月20日に開催された。大磯運動公園をスタート、ゴールとして6区間で31チームがしのぎを削った。昨年度2位の星槎国際湘南陸上競技部が1時間11分17秒で総合・団体で初優勝を果たした。

星槎国際湘南陸上競技部は1区の園田幸之介が6位で2区の栗田伊吹へ襷を渡す。栗田は4位で3区のアヌール・マハメド・アタへ。襷を受け取ったアヌールは区間賞の力走

で一挙にトップに躍り出ると4区のデジエン・テスファレム・ウエルドゥ、5区のツェリグ・ペンジョ、6区の瀬戸大二朗と最後まで先頭を譲ることなく2位の大磯高校陸上競技部に4分39秒の差をつけてゴールした。

星槎国際湘南硬式野球部が6位、バスケットボール部が8位と健闘した。

を發揮させてくれる。それが子どもたちの自信とやる気になる。大会終了後、生徒たちは、結果に納得が行かず、来年里ベンジしますという顔をしていた。

VOICE

16位オール星槎のメンバー

1区(区間25位) 衣原 杏哉 星槎国際常広

自分は47キロとあんまり走らない距離だったので最初は抑え気味で行こうと思っていたんですが、キツかったんですが、襷を渡して良かったです。去年よりは順位は良かったのが嬉しかったんです。来年はもっと練習をして出たいと思いました。

2区(区間5位) 太田 哲成 星槎国際立川

大磯一周駅伝を通して、自分は走ることよりも大会そのものに出場することになにか意味があったように思います。

3区(区間27位) 星 雅哉 星槎国際常広

僕は、今回が人生で初めての駅伝でした。走る前は独特の緊張感があり、初めてだらけの経験でした。その中で1番僕が印象に残ったのは、走っている時の声援でした。地元の暖かみにふれることができて、走っていてとても気持ちよかったです。

4区(区間5位) 金田 樹 星槎学園北斗校

去年、私は星槎オリンピック駅伝部門で区間賞をとりました。もともと走るのが好きでさらに、その経験を生かしたら良いなと思い今回の大磯一周駅伝に参加しました。参加して走るのはもちろん、全国から集まった仲間と交流できた事はとても良い経験になりました。

5区(区間29位) ニダツブ・ドルジ 星槎国際湘南

私は5区で33キロを14分ぐらいで走りまわった。一か月くらいちゃんと走っていないだったので、自分が思うように走れませんでしたが、でも、今回の駅伝で多くの仲間を作ることができて嬉しかったです。次回もこのようなイベントがあったら参加をしてたくさん仲間を作りたいです。

6区(区間6位) 中川 将吾 星槎学園北斗校

私は去年も大磯一周駅伝に参加しました。正直、去年より走る距離も増えていてとても不安でしたが、5区の人からもらった襷を絶対にゴールにつなげたいという思いで最後まで走りきりました。大磯一周駅伝、本当に良い経験になりました。

神奈川県高等学校 星槎国際湘南 バレーボール新人大会

ベスト16



サーブカット

と思う。私自身も試合の中で、苦しい場面になった時に仲間を声をかけることができなかった。大会を通して、改めてチーム全員が同じ気持ちになって戦うことがどれだけ大変なのかを感じた。これからの練習は今以上に苦しくなると思うが、個人の技術向上だけでなくチームとして一つになれるかを考えながら練習したい。

関 優里

試合の雰囲気と勢いに飲み込まれ、自分の思うようなプレーができなかった。大事なところで自分の気持ちを前に出せず、引いてしまいミスをする場面がたくさんあった。今回の試合で改めてプレー面、精神面、試合に挑む姿勢がなかったことに気づかされた。自分たちの流れ、雰囲気を作りどんな状況であっても攻め続けることができるチームにならなりたいと思う。そのためにプレーに対する姿勢から見直し、悔しいと思う気持ちを保持して練習に取り組んで行きたいと思う。

VOICE

田中 彩夏

今大会は先輩たちが勝ち取ったベスト4がどれだけ大変だったかを改めて感じた試合だった。1試合目は相手のミスを待つだけで、自分たちのプレーができてなかったと思う。攻める気持ちもなくなっていて勝ったような試合だった。

大牟田 絢音

今回の大会を終えて、サーブカットが全体的に悪く、あまり攻撃に繋げることができなかった。東海大相模はサーブで攻めてくるのに対し、星槎はサーブミスも多く、気持ちの面から負けていた

試合を振り返り、何が足りなかったのか、何をしたらよいかははっきりしたと思う。新人大会後は、2か月ほど間があく。次の大会に向けてだけ悔しい気持ちを忘れずに活動できるのが大切だと思う。(バレーボール専攻 コーチ 佐々木 徹)



試合前の円陣

未来に向けて スポーツを超え

公益財団法人 世界こども財団は、アフリカのエリトリア国、アジアのブータン王国、そしてミャンマー連邦共和国への支援活動を様々な分野で続けている。なかでも2020年 東京オリンピック、パラリンピック大会をひとつの契機とし、神奈川県での代表チームの事前キャンプ受け入れ、両国からのスポーツ留学生の長期受け入れ等、スポーツを通して子どもたちや青少年の育成支援に力を入れている。

2019年2月2日から9日、アラブ首長国連邦ドバイで開催されていたアジア・パラリンピック委員会（APC）総会にブータンパラリンピック委員会（BPC）が初参加をした。

射撃の女子エアライフル立射（運動機能障害）に、キンレイ・テム（24）が出場した。緊張感もあって十分に力を発揮できず、結果は14選手のうち最下位。以前は家に引きこもり、健常者で射撃選手だった姉に憧れ、腕が上がらない状態から練習を始めた。着実に成長し始めた。

そして、元タクシー運転手のペマ・リグゼ（31）は下半身に麻痺があり車イス生活を送っている。約2年前に始めたアーチェリー競技で出場した。蒼い芝生の会場にスコアボードが並び、大勢の観客が注目する雰囲気は想像以上だった。結果は初戦敗退。



ブータン パラリンピック委員会 ロゴマーク



ユフェルマ・チョデン・ワンチュク王女(右)

負けてはいけない チームを束ねる男

星槎道都大学硬式野球部 大栗主将

「春季トーナメント戦の時に、ひとまず主将をやってくれないか、って言われたのが最初ですね」と、大栗飛人は言った。

昨秋、札幌学生野球連盟（札幌6大学野球・通称SABURO BGS）リーグ戦で優勝したものの、北海道代表決定戦で敗れてしまった星槎道都大学硬式野球部の現在の主将、大栗は、地元北広島

市の出身だ。高校は、駒大苫小牧高校。兄弟二人で、同じ高校の野球部に入るようになったので、一家揃って苫小牧市に転居したという。一つ上のお兄さんも現在別の大学で硬式野球を続けている。「父も現役で草野球をやっています」というほどの野球一家に育った。

大学に進学したとき、レギュラー選手の手さきに驚いたものの、何よりも意識の高さの違いに直面したという。たとえば、「試合に負けても実力はこちが上だから」といった空気感があった。しかし、大栗の考え方は「野球はチームスポーツ」というものだ。彼曰く、「今まで星槎道都の野球部では一番うまい人が主将をやる、とい

う流れだったので、自分は異例の主将です。」高校時代、チームは甲子園に出場したものの、背番号14番だった彼には出場する機会が残念ながら訪れなかった。しかし控えたから、控えの大切さを一番知っているのも彼だ。だからこそ、二宮監督に代わった昨秋のリーグ戦、黒星スタートとなった初戦の後に、ベンチ入りしたチームメイトに熱く語ることができ、そこからチームは立ち直った。

「ベンチ入りした人間は、100名以上いる部員に対して責任があるんだ。出たくても出られない、でもチームのためにやってくれるメンバーがいる。それを忘れちゃいけない。負けてはいけない理由はそこにあるんだ。」

今は、春のリーグ戦を勝ち抜くための戦術を考え、4年生に役職を与え、責任感を持たせて、チーム作りを進めているという。「4年生が全員、チーム



大栗飛人主将

第68回 全国高等学校フィギュアスケート選手権大会が1月25日から27日まで愛知県名古屋市にあるガイシアリーナで行われ、星槎国際名古屋の1年 藤崎ひなのが出場した。全国から101名の選手がエントリー、藤崎は予選となるショートプログラム「サムスンとデリラ」で「自分らしい迫力の演技」をするために強弱をつけることや目力など曲調に合わせて表現することを意識して本大会に臨んだ。決勝でフリーを踊ることはできなかったが、総合成績で101名中30位の成績で終了した。



藤崎ひなの

藤崎は「今回のインターハイでは、レベルの高い選手たちと戦うことができて、すごくいい経験になりました。自分はノーマスと言う目標を持っていましたが、トリプルジャンプを1つミスしてしまったことが悔しかったです。ただ、3回転・3回転を決めることができたので、良かった部分もあったと思います。この経験を次の大会に活かせるようにしたいです！」とコメントしてくれた。

藤崎の試合前のルーティンワークは自分のペースで体を動かして、音楽を聴きくこと。これをする中で試合への集中が高まっていく。試合中は、落ち着いて一つひとつの課題をこなす事、そして試合後は良かった事と悪かった事を考えて、次からの練習や次の試合への目標を意識する。「フィギュアスケートをやっていて楽しい事は、試合ではないけど、試合がうまくいった時、表彰台に上がった時はすごく嬉しいんです。そして、送り迎えをしてくれる母、応援してくれる家族、先生に感謝して、頑張ります。次のシーズンは新しいジャンプに挑戦して、試合で決まるようにしたいです。そして目標はインターハイでもっと上位を狙い、全日本に出場できるような頑張ります。」と本人の気持ちは次なる高みへ向かっている。

第68回 全国高等学校 フィギュアスケート競技 選手権大会

星槎国際名古屋の 藤崎ひなのが出場!!

男子バスケットボール 県大会への挑戦



一致団結

1月12日(土)に神奈川県大会に初出場した。1回戦目の相手は私立関東学院高等学校。「試合の出だしをしっかりとしていこう」と選手を送り出した。

開始早々、高橋剣斗の3ポイントが決まるが、簡単なシュートミスが多く、シュートチャンスを決めきれない苦しい時間帯が続く。なかなかリズムを掴むことができない。相手の激しいディフェンスに対して水本達也が強いプレッシャーでチームを引っ張る。ゴール下では勝田輝翔が存在感を出し徐々に得点を重ね

て、65-50で初戦突破。チームの反省点や、個人としての反省点も多くある試合であったが、40分間戦い、走り抜いたことが収穫であった。

1月14日(月)2回戦の相手は県立霧が丘高等学校。相手は2-1-2のゾーンディフェンスで応戦してきたが、和田豊、勝田輝翔の連続3ポイント、生井龍大のリバウンドシュートなどで流れを掴み、リードして前半を終える。

後半は一進一退の攻防が続く。星槎が決めれば霧が丘が決め返す展開で、どちらも引かない均衡した時間帯が続く。和田のゴールに対しての果敢なプレーでとったバスケットカウントや、パスを回して相手を崩してからの高橋の土壇場3ポイントなどで流れを持っていくが、霧が丘高校も意地の

シュートでなかなか突き放せない。ミスから逆転を許し、追いつけるも、そこで終了のブザーが体育館に鳴り響く。72-78で悔しい敗戦となった。

創部2年目で初の県大会出場、初勝利ができたことで星槎国際湘南男子バスケットボール専攻に新たな歴史を作ることができた。この経験を今後活かして、3月の関東大会予選、5月の総体予選でしっかりと勝ち上がり、リベンジを果たす準備をしていきたい。

そして、チーム目標である神奈川県ベスト8を目指し、星槎国際湘南バスケットボール専攻のプレーの精度を上げていきたい。今後、「応援されるチーム」を目指して頑張っていきたい。
(男子バスケットボール 専攻コーチ 小村誠)

スポーツを楽しむ上で重要なこと

同じスポーツを続けているが、まだまだ上手になりたいと思っているし、サッカーについて知りたいたいと思っている。楽しむために重要なことは、いかに自分がやっているスポーツが好きになり、夢中になることが最も重要であると考えている。

自分のやっているスポーツを好きになり、夢中になると『やらされている』という感覚がなくなってくる。『やらされている』という感覚がなくなるとトレーニングに主体性が出てくる。そうするとスポーツに対する深みが増すのだ。また、日々の生活に自分のやっているスポーツを落とし込むことができる。

例えば、「時間が空いたから公園にサッカーボールを蹴りに行く」とか、「朝早く起きることができたから走りに行く」という考えである。こういうふうに日々の生活に落とし込むことができるように上達することができるといいのだ。

スポーツをしているとよく言われるのが『競技志向』と『楽しむこと』の両立である。私の場合は試合に勝ったときの嬉しさや真剣勝負の緊張感が好きでスポーツを続けている。

『競技志向』と『楽しむこと』の両立は難しく、『競技志向』と『楽しむこと』が相反するものであると考える人は少なくない。どちらかの片方は切り捨てなければならぬと考える人も多くいると思う。これは完全に私の意見だが、実際はそうではないと考える。それどころか非常にレベルの高い環境に身を置いている人の中でも、同時に『楽しむこと』ができていて、人がいると感じる。そういった人に限って高いパフォーマンスをしているのだ。試合に勝つことを優先し、『楽しむこと』を忘れてしまったり、それによってストレスがかかることもある。私もそんな経験をしてきた。

ただ、そういった経験から『楽しむこと』と『競技志向』を疎かにすることは明確に違うことだと思う。上手く『競技志向』と『楽しむこと』を両立する

ためには、真面目にやるべきでないことが重要だと感じる。真面目になりすぎないというのは、ふざけることではなく、『どうやって相手をこまかにやるのか』とか『この練習は説明になかったけどこのプレーをしてもいいのかな』という考え方である。

こういった発想こそが実際の試合で生き、相手との駆け引きが生まれ、楽しさに繋がるのだ。非常に緊張感のある試合や練習で『競技志向』と『楽しむこと』の両方を味わうことをプレーヤースキルを最大限に発揮できると私は考えている。是非、スポーツを楽しむ自分自身の成長に繋がってほしいと思っている。

ニュース速報

香川丸亀国際ハーフマラソン大会に星槎道都大学ヤレド・アスメロン・テスフィットが出場

日本最高峰のハーフマラソン大会である、第73回香川丸亀国際ハーフマラソン大会が2月3日に開催された。星槎道都大学のヤレド・アスメロン・テスフィットが、タイムは1時間07分23秒で106位。優勝はオランダのアブディナゲイジェでタイムは1時間00分24秒。次は3月10日の第74回びわ湖毎日マラソン大会に向けて調整する。

星槎国際高校富山 江良みゆき、稲田琉、竹内琳樹也が特別表彰

富山県高校体育連盟は本年度の全国大会で入賞するなどの活躍をした個人、団体を特別表彰した。

星槎国際富山からは全国定通大会陸上競技女子3000メートルで5位に入賞したの江良みゆきと柔道で男子団体ベスト8の稲田琉、竹内琳樹也が選ばれた。

星槎国際高校湘南 女子サッカー部が優秀選手表彰

神奈川県高校体育連盟は36団体と個人107人を優秀選手として表彰した。星槎国際からは優秀選手・団体の部で星槎国際湘南女子サッカー部、星槎国際横浜バドミントン。優秀選手・個人の部では、体操で星槎国際湘南の柏木淑里、自転車で星槎国際横浜の瀬川林臣がそれぞれ表彰された。

星槎 教師 列伝

多くの失敗があったからこそ今がある 星槎国際湘南アーチェリー部 監督 茂田佳裕

「何か運動を始めないとな」中学3年の冬。何気なく発したこの言葉が、私がアーチェリーの世界に飛び込むことになったきっかけである。

当時私は、中高一貫の学校に通っており、高校からは何か部活をやりたいと思っていた。そんな時この何気ない一言を隣でたまたま聞いていたのが、当時アーチェリー部に所属していた友人だった。そんな友人に誘われ、アーチェリー部に入った。今思えばこの何気ない言葉が無かったら、アーチェリーに出会うことはなかっただろう。

当時、私の入部した高校のアーチェリー部はいわゆる名門で、県内では数十年負けなし。全国屈指の強豪校であった。全国のレギュラーの枠は50人中4人。私もどうせやるなら2年生で全国大会

を狙いたいと思い、1年生の時誰よりも多く練習することを目標に取り組んだ。

中々結果が出ず苦しんだ時期もあったが着々と力を付けていった。そして5月の全国大会予選。ここで校内上位4人に入れば全国の切符が握める。当然今まではないプレッシャーがあった。それでも試合をやり切り、校内でも4位につけることができた。「これで全国大会に行ける」と思ったが、結果私は全国には行けなかった。

メンバークラス前、監督から「まだまだ経験が浅い。だからAさんと変わってくれないか?」と言われた。Aさんというのは部活の絶対的エース。チームとしては欠かせない選手である。しかし、この時は調子を落としており、校内5

位だった。私も色々悩んだが、チームの目標は全国制覇である。その目標を達成するためにはAさんは必要不可欠。チームのために私は、全国優勝の夢をAさんに託した。その後は、スランプに陥り結果を残せないまま部活を引退した。

アーチェリーをあきらめきれない気持ちがあり、大学はアーチェリー部のある場所と決めていた。そんな時、部が新たに新設される学校があることを知り、監督もアーチェリー界では有名な監督が就任することが決まっていた。

また0からチャレンジしたいと思い、進学した。大学時代は高校時代と打って

変わり、チームの主力として、多くのタイトルを獲得し全国大会にも出場することができ、目標も達成することができた。そんな経験を得て、今は縁がありこの星槎アーチェリーの監督をしている。

私のアーチェリー人生は失敗した経験がほとんどである。でもその失敗があったからこそ、今がある。私の成し遂げたことのできなかつた日本一の夢を託し、選手たちを全力でサポートしていく。

また0からチャレンジしたいと思い、進学した。大学時代は高校時代と打って



セイスポ

今年、目標は「リーグ戦昇格、選手権大会出場」である。チーム目標を全員で共有して新年を迎えた。

昨年度はチームとして非常に悔しい一年となった。リーグ戦は3部への降格、主要大会では全てベスト32という結果だった。この悔しい経験を糧に2019年は大きく飛躍したいと考えている。



スターティングメンバー

昨年度はチームとして非常に悔しい一年となった。リーグ戦は3部への降格、主要大会では全てベスト32という結果だった。この悔しい経験を糧に2019年は大きく飛躍したいと考えている。

新たな年を迎えるにあたり、昨年末に強化遠征を実施した。大会形式となる遠征は3カテゴリーに分かれて試合を行った。対戦相手には全国の強豪校があり現在のチーム状況を図る良い機会となった。結果は全カテゴリーで昨年の成績を上回り、新チームとして好スタートを切ることができた。

男子サッカー専攻

監督 永瀬裕記

『2019年の抱負』



全国優勝を祝う会にて

皆様、いつもご声援ありがとうございます。昨年同様、個の力は平均点くらいかと思えます。グループで戦うにしても、もう少し個々の力を伸ばす必要があります。特に今年は一人一人が能動的に動くようにスキルを上げていきたいと思っています。

昨年度の実績は選手にとってプレッシャーとなるか自信となるかは日々の生活によると思います。チャンピオンチームに相應しい取り組み姿勢を求めたいと思います。とはいえることは変わりませんので日々全力で取り組みたいと思います。今年度もよろしくお願いたします。

星槎奥寺カッパ2019 U-10が1月19日、相馬光陽サッカー場にて行われた。2011年3月の東日本大震災後に始まったこの取り組みは、サッカーを通して子どもたちに元気を与えること、福島県相馬地区へのスポーツ支援、少年少女の健全な育成と技術の向上を目的としている。今回、相馬SC Jr U10、相馬FC、大野FC、相馬SSS、FC原一、相馬サザン、相馬SC Jr U9、仙台中田の8チームが参加し、それぞれ素晴らしいプレーを見せてくれた。

『2019年の抱負』

監督 柄澤俊介

2019年冬サッカー交流支援



試合で実践練習

翌日1月20日には小学生4・5年生を対象にしたサッカースクールを相馬光陽サッカー場で開催した。4年生17名、5年生35名、6年生44名、計96名の選手が参加し様々な関わり合いから笑顔溢れる楽しいスクールとなった。震災から8年が経とうとしているが、世界でも財団では今後必要とされる活動を継続していく。

VOICE

永瀬裕記 コーチ

相馬でのサッカースクールは私自身2回目の指導となりました。特に印象的な事としては、私が伝えたことを吸収する速さです！今回は「ゴールを奪う」というテーマで指導したのですが、ゲーム形式でのトレーニングでは白熱した展開から大人顔負けのゴールシーンや攻防が繰り広げられていました。昨年の夏に相馬地区トレセンとして大磯キャンパスに合宿に来ていた選手からは、「高校生になったら星槎国際湘南に行きたい」と最高の誉め言葉を頂くことができました。最後に、今回の活動が子どもたちの力に少しでもなれたら幸いです。私自身は相馬の子どもたちの笑顔に勇気と元気をもらうことができました。

星槎奥寺カッパ2018 U-10 結果

- 1位 相馬SC Jr U10
- 2位 仙台中田
- 3位 相馬SSS
- 4位 FC原一
- 5位 大野FC
- 6位 相馬サザン
- 7位 相馬FC
- 8位 相馬SC Jr U9

サッカー教室参加者



星槎オリンピック 伝統競技部門・料理部門

平成最後の年を迎えた1月11日(金)、冬の暖かな日差しの中、星槎中等高等学校にて星槎オリンピック第13回 伝統競技部門・第17回 伝統競技部門が開催された。今回のオリンピックも関東地区を中心に浜松・名古屋・広島からも参加があり、名古屋中学校からは中学生も参加した。選手・スタッフ・応援に多くの生徒が参加し、職員を合わせると会場には800名を超える参加者で楽しい1日を過ごすことができた。



優勝した八王子 GC の料理



散らし取り優勝 今泉あかり

浜鴨居学習センター2年生の今泉あかりが2連覇を達成した。見事な戦い振りであった。また団体戦(坊主めくり)では今年の強運チームを決める熱いバトルが16チームで繰り広げられた。星槎高校と星槎学園湘南校の間で決勝が行われ、目まぐるしい札の行き来の中、結果は湘南校の連覇を阻止し星槎高校が優勝を収めた。

覇を阻止すべく各校舎、創意工夫を凝らし様々なチャレンジをする姿が見られた。年々各校舎がレベルをあげ、日常の取り組みの充実が伺えた。そのなかでも見事八王子学習センターは8連覇を成し遂げ今年も強さを見せつけた。

(伊藤鉄也)